



喜茂別に イトウふたたび

イトウ(サケ科) 日本列島では北海道だけに生息する国内最大の淡水魚。体長1.2m以上に成長する。「サバンナのライオン」にたとえられる川の王者だが、河口域から上流域まで広大なエリアを行き来して世代交代するため、ダム建設などの環境破壊とくに影響を受けやすい。北海道レッドリスト「絶滅危惧IB類」。

オビラメの会/イトウ稚魚放流報告会2022

とき 2022年3月26日(土曜) 14:00~15:10

入場無料

ところ 喜茂別町農村環境改善センター 喜茂別町字伏見264-4

報告者 川村洋司 オビラメの会事務局長

お申し込み不要です。不織布マスクの着用など、感染症対策をお願いします。

主催 尻別川の未来を考えるオビラメの会 電話090-8279-8605

協力 きもべつ歴史プロジェクトの会KHP

倶知安エリア

羊蹄山

喜茂別エリア

ニセコエリア

尻別川のイトウ個体群を絶滅の危機から救うために、オビラメの会は、広大な尻別川流域のあちこちに、イトウたちが自力で世代交代できる自然繁殖地を復元すべく「オビラメ復活30年計画」(2000~2030年)を進めています。

調査中

繁殖イトウ
見まもり隊

オビラメの会は patagonia® の協賛を受けて活動しています。

